

新たに大学院理工学府の募集人員の変更について追加しました。(p1~p2) (令和6年3月13日更新)

2025年度横浜国立大学大学院理工学府入学者選抜における変更について (予告)

2025年度(2024年度実施分)以降の横浜国立大学大学院理工学府博士課程前期入学試験における入試方法を次のように変更します。

1. 大学院理工学府博士課程前期入学試験の内容を以下のとおり変更します。

専攻名/ユニット	2025年度(変更後)					2024年度(変更前)				
機械・材料・海洋系工学専攻	募集人員					募集人員				
	専攻	ユニット ※	教育分野	教育プログラム	募集人員	専攻	ユニット ※	教育分野	教育プログラム	募集人員
機械・材料・海洋系工学	機械工学	機械工学	TED 又は PED	109	機械・材料・海洋系工学	機械工学	機械工学	TED 又は PED	109	
		航空宇宙工学					材料科学 フロンティア			航空宇宙工学
		集積プロセス工学				海洋空間 システムデザイン		材料工学		TED 又は PED
	材料科学 フロンティア	材料工学	TED 又は PED				海洋空間 システムデザイン	航空宇宙工学		TED 又は PED
		航空宇宙工学				海洋空間 システムデザイン		海洋空間		
	集積プロセス工学	航空宇宙工学	TED 又は PED							
<p>注：集積プロセス工学教育分野の入試は機械工学ユニット、材料科学フロンティアユニットで行います。</p>										

数物・電子情報系理工学専攻	募集人員					募集人員				
	専攻	ユニット ※	教育分野	教育プログラム	募集人員	専攻	ユニット ※	教育分野	教育プログラム	募集人員
数物・電子情報系理工学	数理科学	物理学	数学	理学	146	数物・電子情報系理工学	数理科学	数学	理学	146
			物理学	PSD				物理学	PSD	
	電子情報システム	電子情報システム	情報システム	TED 又は PED		電子情報システム	電子情報システム	応用物理	TED 又は PED	
			電気電子ネットワーク					電気電子ネットワーク		
		集積エレクトロニクス								

注：集積エレクトロニクス教育分野の入試は電子情報システムユニットで行います。

2025 年度横浜国立大学大学院理工学府入学者選抜における変更について（予告）

2025 年度（2024 年度実施分）以降の横浜国立大学大学院理工学府博士課程前期入学試験における入試方法を次のように変更します。

1. 大学院理工学府博士課程前期入学試験における「一般選抜（国費外国人留学生特別選抜を含む）」で課す学科試験の内容を以下のとおり変更します。

専攻名／ユニット	学科試験科目	
	2025 年度（変更後）	2024 年度（変更前）
化学・生命系理工学専攻 化学応用・バイオユニット	<p><学科試験Ⅰ> <u>(300 点)</u></p> <p>①数学（解析学、線形代数学、微分方程式の範囲）</p> <p>②基礎化学Ⅰ（基礎無機化学、基礎分析化学の範囲）</p> <p>③基礎化学Ⅱ（基礎物理化学、基礎有機化学の範囲）</p> <p>④化学工学基礎（移動速度論、物質・エネルギー収支、相平衡の範囲）</p> <p>合計 4 題(各 75 点)</p> <p><学科試験Ⅱ> <u>(100 点)</u></p> <p><u>これまでの研究内容や希望する研究分野に関する基礎知識・専門知識について口述試験を行う。(100 点)</u></p>	<p><学科試験Ⅰ> <u>(200 点)</u></p> <p>①数学（解析学、線形代数学、微分方程式の範囲）</p> <p>②基礎化学Ⅰ（基礎無機化学、基礎分析化学、基礎物理化学、基礎有機化学の範囲）</p> <p>③基礎化学Ⅱ（基礎無機化学、基礎分析化学、基礎物理化学、基礎有機化学の範囲）</p> <p>④基礎生物学</p> <p>合計 4 題(各 50 点)</p> <p><学科試験Ⅱ> <u>(200 点)</u></p> <p>①化学工学</p> <p>②材料力学・材料工学</p> <p>③化学（物理化学、無機化学の範囲）</p> <p>④生物科学（生化学、分子生物学、細胞生物学の範囲）</p> <p>⑤生物学（生物学、医工学・人工臓器の範囲）</p> <p>合計 5 題中 3 題（各 50 点）を選択</p> <p>計 150 点を 200 点に換算</p>

Amendment of Admission Procedures for Yokohama National University Graduate School of Engineering Science for Academic Year 2025(Pre-Notice)

This is to announce that the admission procedures for Master's program at Yokohama National University Graduate School of Engineering Science for and after academic year 2025 (screening in academic year 2024) will be amended as follows.

1. The academic subjects in the examination for “General Admission (including special admission for Japanese government-financed (MEXT) international students) “ for Master's program at Graduate School of Engineering Science will be amended as follows;

Department/Unit	Academic Subjects for Examination	
	Academic Year 2025 (after amendment)	Academic Year 2024 (before amendment)
Department of Chemistry and Life Science Chemistry Applications and Life Science Unit	<p><Subject I > <u>(300 points)</u></p> <p>① Mathematics involving linear algebras, analysis, and differential equation</p> <p>② <u>Basic chemistry I involving basic inorganic chemistry and basic analytical chemistry</u></p> <p>③ <u>Basic chemistry II involving basic physical chemistry and basic organic chemistry</u></p> <p>④ <u>Chemical engineering basics involving transport phenomena, mass/energy balances, and phase equilibrium</u></p> <p>4 questions in total <u>(75 points each)</u></p> <p><Subject II > <u>(100 points)</u></p> <p><u>Oral examination is conducted on the basic and specialized knowledge related to the examinee's previous research and/or intended research field (100 points)</u></p>	<p><Subject I > <u>(200 points)</u></p> <p>① Mathematics involving linear algebras, analysis, and differential equation</p> <p>② <u>Basic chemistry I involving basic inorganic chemistry, basic analytical chemistry, basic physical chemistry, and basic organic chemistry</u></p> <p>③ <u>Basic chemistry II involving basic inorganic chemistry, basic analytical chemistry, basic physical chemistry, and basic organic chemistry</u></p> <p>④ <u>Basic biological engineering</u></p> <p>4 questions in total <u>(50 points each)</u></p> <p><Subject II > <u>(200 points)</u></p> <p>① <u>Chemical engineering</u></p> <p>② <u>Material dynamics and material engineering</u></p> <p>③ <u>Chemistry involving physical chemistry and inorganic chemistry</u></p> <p>④ <u>Life Science involving bioscience, molecular biology and cellular biology</u></p> <p>⑤ <u>Biological Engineering involving biological engineering, medical engineering, and artificial organs</u></p> <p><u>Answer 3 questions (50 points each) out of 5 questions</u></p> <p><u>Total 150 points are converted to 200 points</u></p>

2025 年度以降の入試について（予告）

横浜国立大学大学院都市イノベーション学府

2025年度以降入学者対象（2024 年度夏期実施分以降）の、横浜国立大学大学院都市イノベーション学府博士課程前期における入試方法を次のように変更します。詳細は当該実施分の募集要項で確認をしてください。

大学院都市イノベーション学府博士課程前期入学試験

・建築都市文化コース 建築系問題

従来（2023年度までの入試）			変更点（2025年度以降の入試）		
筆記試験選抜			筆記試験選抜		
学科試験 I について志願者は出願時に志望する問題を選択すること。			学科試験 I について志願者は出願時に志望する問題を選択すること。		
外国語	100 点	英語（TOEIC、TOEFL、IELTSのスコアを用いた選抜）	外国語	100 点	英語（TOEIC、TOEFL、IELTSのスコアを用いた選抜）
学科試験 I	300 点	建築系問題志望者に対しては、①建築史・建築芸術、②建築計画、③都市計画、④都市環境工学、⑤建築環境工学、⑥建築材料構法、⑦建築構造力学、⑧建築構造計画、⑨建築・都市防災計画、⑩特別小論文の 10 科目から志望先教員の専門分野に関する科目を含めて 6 科目を選択する筆記試験を行う。 <u>※「⑩特別小論文」については志望先教員によって選択できない場合がある。必ず志望先教員あるいは問い合わせ担当教員に確認すること。</u>	学科試験 I	300 点	建築系問題志望者に対しては、①建築史・建築芸術、②建築計画、③都市計画、④都市環境工学、⑤建築環境工学、⑥建築材料構法、⑦建築構造力学、⑧建築構造計画、⑨建築・都市防災計画、⑩特別小論文の 10 科目から志望先教員の専門分野に関する科目を含めて 6 科目を選択する筆記試験を行う。 <u>※「⑩特別小論文」については志望先教員によって選択できない場合がある。必ず志望先教員あるいは問い合わせ担当教員に確認すること。</u>
学科試験 II	200 点	建築系問題志望者に対しては、建築史・建築芸術、建築計画、都市計画、都市環境管理計画、建築環境工学、建築材料構法、鋼構造学、鉄筋コンクリート構造学、地域創造の中から、志望先教員の専門分野に関する 1 科目を選択する筆記試験と面接を行う。	学科試験 II	200 点	建築系問題志望者に対しては、建築史・建築芸術、建築計画、都市計画、都市環境管理計画、建築環境工学、 建築材料構法 、 鋼構造学 、鉄筋コンクリート構造学、地域創造、 大空間構造 、 建築構法 ・ 建築生産 の中から、志望先教員の専門分野に関する 1 科目を選択する筆記試験と面接を行う。

従来（2023年度までの入試）					変更点（2025年度以降の入試）				
コース（建築系問題）担当教員					コース（建築系問題）担当教員				
氏名	職位	専門分野に関する科目		研究内容のキーワード	氏名	職位	専門分野に関する科目		研究内容のキーワード
		学科試験Ⅰ	学科試験Ⅱ				学科試験Ⅰ	学科試験Ⅱ	
河端 昌也	教授	⑥建築材料構法	建築材料構法	膜構造, 軽量構造, 大空間構造, 構造デザインに関する研究。構造工学, 構造と形態, 理論的・解析的検討, 実験検証, 設計・製作。	河端 昌也	教授	⑦建築構造力学 ⑧建築構造計画	建築材料構法 大空間構造	膜構造, 軽量構造, 大空間構造, 構造デザインに関する研究。構造工学, 構造と形態, 理論的・解析的検討, 実験検証, 設計・製作。
江口 亨	准教授	⑥建築材料構法	建築材料構法	建築構法、建築ストック活用。建築の生産性や住宅の構法史に関する研究。ストック型社会における建築関連産業や専門家のあり方に関する研究。	江口 亨	准教授	⑥建築材料構法	建築材料構法 建築構法・建築生産	建築構法、建築ストック活用。建築の生産性や住宅の構法史に関する研究。ストック型社会における建築関連産業や専門家のあり方に関する研究。